

ボールパーソン（BP）

■ ボールパーソンとは

ボールパーソンの業務を行う者は、性別、年齢を問わず広い範囲におよぶ。しかし、フットサルに対する理解と局面の把握が不十分な場合、適切なボールの受け渡しといった管理業務に支障が起きることもある。こうした点から、一般には当該種目の経験者であることが望まれる。

■ ボールパーソンの業務

ボールパーソンはピッチ（コート）の**ベンチの対面二隅に配置**される。ピッチ外に出たボールの回収、および選手に対してボールを供給することが、ボールパーソンの主な業務である。広島県フットサルリーグでは1試合に1つの試合球と5つの予備ボールを使うこととなっている。（マルチボールシステム）

試合中、常時ボールパーソンは予備ボールを保持し、ピッチ外にボールが出た場合、選手に試合球、若しくは予備ボールを供給する。同時にピッチ外に出たボールを回収し、再びボールパーソンによって保持される。ピッチ内にあるボールは、たとえ選手からかなり離れた場所であっても原則として選手が回収しなければならない。ただしマルチボールシステムにおいて、複数のボールがフィールド内に入ってしまうことがあり、審判員の指示に従ってこれを回収する場合もある。

ボールパーソンのボールの供給により、試合を再開させるまでの時間の長短が発生し、トラブルが起こることもある為、ボールパーソンは常に試合に集中し、業務を全うしなければならない。

■ ボールパーソンの姿勢・態度

- ・ 試合時間内、予備ボールを保持する際は両ひざの上で両手で保持する。また、片足を組んだ状態で椅子に座らないこと。（すぐにボールを供給出来るように）
- ・ 携帯電話等は使用厳禁
- ・ 服装はジャージなど動きやすいものが良い。また帽子の着用は不可とする。
- ・ 原則フットサルシューズ（室内用シューズ）を着用する。（スリッパは厳禁）
- ・ 試合開始前、ハーフタイム時、審判員からの要請があった時は素早くモップをかける。（両手で行うこと）
- ・ ボール等が当たり、防球ネットの移動や転倒、また施設内の扉の開閉等あった場合、素早く原状復帰を行う。
- ・ マッチコミッショナーの指示に必ず従う事

ボールパーソンの姿勢・態度についてはマッチコミッショナーの監視下に置かれているが、上記事項は各チームで十分に周知徹底をお願い致します。

ボールパーソンの不良について、マッチコミッショナーから各部責任者へ連絡があった場合、懲罰事項として扱う場合があります。